

～自己理解と他者理解を深め、実践力を養う～

第3回 シニア・ファシリテーター養成講座（東京）

ファシリテーター養成講座修了者の皆さんが、写真セラピーのワークショップを開催するために必要な人間力（自己理解と他者理解）を深め、ファシリテーション・スキルに磨きをかけることを目的とした講座です。全日程がグループワークやグループディスカッションなどの参加型授業で構成されており、実体験として楽しく学べます。ファシリテーター養成講座を修了した方であれば、ワークショップ開催の経験がなくてもご参加頂けます。

なお、本講座修了者は、日本写真療法家協会が提供する「実践助成金」もしくは「研究助成金」を申請することができるほか、規定の要件を満たしたうえで、日本写真療法家協会認定のシニア・ファシリテーターとしての称号が授与されます。（※助成金制度およびシニア・ファシリテーター認定制度は、協会のHPでそれぞれの細則をご参照下さい）

◆1日目◆ 写真セラピーの理解を深める

ファシリテーター養成講座で学んだ写真セラピーの基本概念とそのプログラム、実施にあたっての注意事項と対処法などを振り返り、いいワークショップ、いいファシリテーションとはどのようなものかを考えます。

<内容>： 1. アイスブレイク：自己紹介のワーク
2. 写真セラピーの基本概念と作用機序、期待される効果、ファシリテーターの役割の確認

◆2日目◆ 自己理解と他者理解を深める

支援者にとって重要な受容と共感的理解を考えながら「自己理解と他者理解」を深め、ファシリテーターとしての力量アップにつなげていきます。

<内容>： 1. ファシリテーターのための自己理解と他者理解、なぜそれらが大切なのか？
2. 心理学や隣接領域の学術的知見から、自己理解につなげるヒントを学ぶ
3. ファシリテーターにとっての他者理解：発表者の語りを理解する
4. 語られるもの、語られないもの、沈黙の意義とその対応、傾聴演習（ロールプレイ）

◆3日目◆ 実践力を養う

参加者の想いを引き出し、分かち合うファシリテーションの演習を行います。よりよいファシリテーションにつなげるための実施報告書の書き方、模擬ワークショップのロールプレイを通して、導入部分からシェアリング、クロージングまで、ファシリテーターのどのような言動が、よいワークショップ、よいファシリテーションにつながるかを考えます。

<内容>： 1. 実施報告書の書き方：実施内容、結果、考察についての記述の仕方
2. 模擬ワークショップでのファシリテーション・ロールプレイ（導入部分からクロージングまで）

（ご注意）本講座は受講者自身が写真セラピーを学ぶためのものであり、講義内容は知的所有権で保護されています。有償無償にかかわらず本講座の内容を第3者に伝授したり、同様の内容の講座を開催したりすることは出来ません。またうつ病や双極性障害などの気分障害、及び統合失調症などの精神疾患で治療中の方のご参加はご遠慮下さい。

日 時：2019年9月21日（土）22日（日）、23日（祝）の全3日間

時 間：10:30～16:30（初日）、9:30～16:30（2日目および3日目）

会 場：品川産業支援交流施設 SHIP 会議室 2（初日および2日目）会議室 3（3日目）
〒141-0001 東京都品川区北品川 5-5-15 大崎ブライトコア 4階

対 象：ファシリテーター養成講座修了者。ワークショップ開催経験の有無は問いません。

参加費：協会会員・6万円 / 一般・7万円 締切：9月2日（月）申し込み必着

課 題：事前に簡単な作文を作成し、当日にご持参いただきます。テーマ：「私らしさ」600字以内

定 員：6名（先着順） 講 師：酒井貴子（日本写真療法家協会代表理事）

持ち物：ファシリテーター養成講座のテキスト、ファシリテーター養成講座で制作したアルバム

なお、これらを持参できない方は、申し込み時にその旨お知らせください。

申し込み方法：日本写真療法家協会のHPから